

て、アメリカの比島民に對する自治と獨立の約束が與へられ、行政委員會が改組されて全群島は十二區に分れた。

しかして、各區から二名宛合計二十四名の議員を選ぶ上院が構成され、從來の議會は議員九十名（のち九十二名に増員さる）を定員とする下院となり、比律賓立法部は二院制となつたのである。同時に、議會の權限も擴大されて、關稅、鑄貨、移民ならびに公有地等に關しても立法權を享有することとなつた。但し、比律賓議會で可決された法律はすべて米國議會に報告され、米國議會はこれを失効せしめる權利を保留したのである。

以上簡單乍らジョーンズ法について説明したので、再びオスメニヤの話に歸る。

オスメニヤはケソンと同年輩であるが、政治的にはオスメニヤの方が遙かに先輩である。何故ならば、オスメニヤは比島獨立運動の初期からの闘將であつて、國民黨の創立者で且つ總裁であり、比島における唯一の政治的指導者であつた。當時のケソンはオスメニヤの輔佐役をとめて、國民黨の副總裁であつた。

一九一六年、ケソンがジョーンズ法を土産として比島に歸つて來てから、十三年目に、オスメニヤは比島上院議長代理として、下院議員ロハス、上院議員スムロング、下院議員ブリオネ

ス、同じくヒルの一行は、比島獨立獲得使節として渡米し、滯留二年各方面に奔走して、一九三三年一月ヘーヤ・ホーズ・カツテング法を携へて歸國した。比島民がこぞつてヘ・ホ・カ法を歓迎する形勢にあつた時、ケソンは同法を真正面から排撃し、議會を動かして遂に、ヘ・ホ・カ法を拒否せしめ、前述した様に、ケソン自ら米國に渡つて、史上有名なタイディングス・マクダフィー法を成立せしめたのである。

ヘーヤ・ホーズ・カツテイング法も、タイディングス・マクダフィー法も、内容に於ては殆んど異つて居らないために、一部の人はケソンはオスメニヤの失脚を計るために、わざ／＼反對しないで良い反對をして自己の權限擴張を計つたと言つてゐる。又、一面たしかにタイディングス・マクダフィー法通過後におけるケソンの地位は斷然オスメニヤを壓倒して終つたのである。

右の事件は當然オスメニヤとケソンの政治的對立となつて表面化したのであるが、後再び兩雄は比島の完全獨立達成の目的に結ばれ、ナシヨナリスタ・コンソリダード黨を組織して手を握り、タ・マ法を受諾、一九三五年の總選舉にはケソンが大統領となり、オスメニヤは副大統領の地位を占めたのである。

オスメニヤは決して派手な男ではない。またケソンの様な雄辯家でも、社交家でもない。彼はその容貌の示すように、柔和な、妥協性を充分にもつた好漢である。と同時に、實に精密な頭腦と、機をみるに敏な政治家である。このことが、多年に亘つて、彼を比島政界の重鎮たらしめた原因であつたとともに、ケソンを表看板とする比島政府をして高壓的な米國政府とよく協調して、現在迄に至らしめたものと考へられる。恐らく、オスメニヤの背後の後援なくして今日のケソンは存在しなかつたらうと言ふ見方は正しい様である。

なほ、エスベランサ・リム・ハップ・オスメニヤ女史は、一八九四年マニラの富豪の息女として生れ、一九二〇年、當時下院議長たりしオスメニヤと結婚し、三兒を儲けた。彼女はカトリック聯盟をはじめとする幾多の比島社會事業團體に屬して腕を振り、この方面における比島婦人の代表者の一人である。

マニエール・ロハス (Manuel Roxas)

比島政界隨一の財政經濟の權威として、亦、ケソン、オスメニヤの兩巨頭が異國人との混血兒であるに反し、ロハスは純粹のフィリッピン人で、比島の若きインテリから「吾等のロハス」

の名で呼ばれる程厚い信頼を受けてゐる。

一八九二年、ルソン島カピス州カピスに生れた。少年時代に香港に渡つて、同地のセント・ジョセフ大學に學び、一九〇六年マニラに歸り、ハイスクールから大學に進み、一九一三年フィリッピン大學法科を首席で卒業した秀才である。

一九一四年最高點を以て辯護士試験にパスし、當時の控訴院長で、今はなきカエタノアレリアノ氏の秘書兼辯護士として働くうちに、一九一九年の總選舉に郷里カピスの知事候補として名乗りを上げ、二十七歳で當選の榮譽をかち得た。そのうちに、ケソンに見込まれて、中央政界にのり出し、トン／＼拍子に出世した。一九二二年、カピス州第一區から下院議員として當選、爾來十六年議席を占め、その間十一年の永きにわたつて議長の要職を見事に勤め上げた。

一九三一年末、オスメニヤと共に渡米して前述したヘヤ・ホーズ・カツティング法案の成立通過には骨身を惜しまず努力した。しかし、ヘ・ホ・カ法はケソンならびに議會の反對する處であつたので、ロハスの立場は非常に苦しくなつた。

すなはち、ロハスはオスメニヤと多年力を盡した大ナショナルリスタ黨から分離して獨立國民

黨を樹立したのである。しかし、この兩派も、一九三五年春、タ・マ法獨立法案受諾を機會として提携が成立し、再びケソンと協力して聯邦施政の完成に邁進することとなつた。

曾つてケソンが大統領就任の際、禮を厚くしてロハスを大藏大臣の要職に迎へんとしたが、彼は斷乎これを拒絶して一般の喝采を博したこともある。

駐米當時の彼は、ワシントンにおける實際財政問題の討議と、多年の研究により、比島財政に深い關心と理解を有するに至り、今日比島財政經濟方面では彼の右に出する者は誰一人として居ない。

彼は明敏な頭腦の持主であると同時に、正義觀念が強く、政治家としての膽力も包容力も豊かであり、青年大衆の支持は絶對であり、ロハス時代の出現が遠からず來るものと思はれてゐた。

彼が一旦辭退した大藏長官の職につくや、ケソンと協力して、困難な過渡期の國家經濟を切り廻し、同時にナショナル經濟審議會の會長として、各大臣をはじめ、比島一流の人物を網羅する國家最高委員會の總元締として、縦横の手腕を振つたことは、すでに周知の事實であらう。

キンティン・パレデス (Quintin Paredes)

ヘ・ホ・カ法案に眞正面から反抗し、タ・マ法を成立せしめ、常に比島の非常時に當つての特異な存在としてのパレデスは時の人として世人の注意を惹いてゐる。

一八八四年九月九日アブラ州バングエドに生れた、父はこの地の小學校創設者であり、地方教育界の重鎮であつた。

マニラのサン・ファン・レトラン大學に學びのA・Bの稱號を受け、一九一〇年エスクエラ・デレチヨからL・L・Bの稱號を得てゐる。

大學卒業後直ちに官界入りをして、マニラ法院の第四陪席辯護人となり、一九一三年マニラ檢事となる程の利け者である。年齢僅かに三十五歳にして檢事總長の職につき、續いて法相の椅子を占めると言ふ經歷の示す様に、鋭敏な頭腦の所有者であるとともに、滿々たる野心を常に表面に現はして一步もあとには引かない態の人物である。これが彼の長所であると共に、常に彼の榮達を阻んでもゐた様である。

政界入りは、一九二九年の代議士當選に始まり、法規委員會、公共事業委員會の委員乃至委

員長をつとめ、一九二八年再選、翌年七月にはマヌエル・ロハスの渡米の後を守つて下院議長代理となつた。

ナシヨナリスタ黨の重鎮であり、平時の政界では、ウルサ型として敬遠されてゐる様であるが、強固な意志と、溢るゝばかりの才智、人を壓倒する如き性格の一切は、非常時に當つて大衆を指導する第一人者として自他共に許してゐる。極めて少數の友人しか持たないが、何人も彼を政治界の指導者として尊敬するに、（註）かでないと言ふのが、彼を知る者の誰しもが放つ語である。

ケソンなきあとの大衆黨を統率する者は、バレデスだと評する人と、餘りにも強い性格が禍して大成しないのではないかと危ぶむ人もある。

ともあれ、彼の「話題の人」としての價値は充分に存在する譯である。

ホセ・ユーロ (Jose Yulo)

砂糖財閥を背景とし、ケソンの懐刀として司法界の重鎮であり、比島獨立問題に關聯して一九三八年ワシントンに使用してタ・マ法修正案を成立させ一躍名をあげた男である。

一八九四年九月二十四日、甘蔗栽培業者の子として、オクシデンタル・ネグロス州バゴに生れた。幼年時代に両親と死別し、苦學力闘の生活を具さに體驗して今日に至つた。

一九一一年フィリッピン大學に入り、法律を専攻し、一九一四年卒業。

直ちに辯護士會の書記となり、ついで、パンフィツグ・コンマーシャル會社、カランバ砂糖會社、バンバンガ・ミリング會社等の顧問辯護士となり、一九三四年、時の比島總督マーフィ現米國大審院長に認められて、司法長官に任命され、その間ケソンの厚い信任を受けた。一時ケソンの懐刀として、比島政界を切り廻したこともあり、その後國會議長の要職に就いた人物である。

未だ四十七歳の青年政客であるが、若い時の苦勞が身につつき、純眞な性格と高い節操が彼のもつ天性の愛嬌と共に、彼をして今日あらしめたと思はれる。

職歴にも明らかなき様に砂糖財閥の後援を受けて、比島實業界にも廣くその名を知られてゐる。

なほ、比島ダヴァオの日本人土地問題に關しては、ロドリゲスとともに最も強硬な意見を表明した一人と言はれてゐる。

ケソンの持つ迫力と、オスメニヤの老練さ、ロハスの建設力をもたないのは、非常時型の政治家としての彼の将来を一般が餘り高く評價させぬ一大要因と思はれる。

エルビデイオ・キリノ (Elpidio Quirino)

ロハスに次ぐ比島財政通で、ケソン幕下の一人物である。

一八九〇年十一月十六日、イロコス州ピカンに生れた。ピカン公學校からフィリッピン大學に入りL・L・Bの學位を得て卒業。

一九一五年辯護士試験にパスし、一九一七年から二ケ年間、當時の上院議長ケソンの秘書となり、後政界に入つて、イロコス州第一區の選出代議士となつた。

一九二五年以來上院議員となり、一九三四年マーフィ總督の下に財務長官となつた。

比島有數の財政經濟通で、タ・マ法案成立の際には、ケソンの財政經濟顧問格として大いに活躍した。

だが、キリノの政治的手腕は尙將來のものに屬して居り、何人も未だ彼には未完成品としての期待しか有するには至つてゐない。

主要参考文献

一、南洋叢書第五卷比律賓篇

東亞經濟調查局

昭和十四年三月

二、南洋經濟研究

淺香末起著

昭和十六年六月

三、フィリッピン史

バロウス著

昭和十六年九月

法貴三郎譯

四、東亞共榮圈と比律賓

三好朋十著

昭和十六年七月

五、比律賓の民族

東亞研究所

昭和十六年七月

六、フィリッピンの研究

佐藤秀男著

昭和十六年五月

- 七、フィリッピン
中屋健弑著
- 八、フィリッピン年鑑
大谷純一編
- 九、南洋年鑑
臺灣總督府官房外事課編
- 十、フィリッピン情報
比律賓協會編
- 十一、比島の危機
佐藤劍之助著

昭和十七年三月五日

昭和十五年十二月

昭和十二年十一月

昭和十六年六月

BIBLIOGRAPHY

- 1) The Philippine Way of Life
Ginn & Company, Boston.....Osins, Gannib
(1940)
- 2) The Development of Philippine
Politics (1872-1920)
(Philippine Political Science Series Vol. 1)
Oriental Commercial Co.,
Inc., Manila, P. I.
(1921).....Kalaw, M. M.
- 3) Through the Philippines
Doubleday, Page & Co.,
New York
(1925).....Carpenter, Frank
- 4) A Brief History of The Phi-
lippines.....Fernandez, Lean Ndro H.
Ginn & Company, Boston
(1929)

- 5) Philippine Independence
Farrar & Rinehart, Inc., Kirk, C. K.
New York (1936)
- 6) The Conquest of The Phi-
ippines By The United
States 1898-1925 Storez, Maorfield
G. P. Putnam's Sons, Liebauco, Marcial
New York (1926)
- 7) Philippine Government &
Political Law Sinco, Vicente G.
Community Publishers
Inc, Manila (1936)
- 8) The Philippines-A Nation
in The Making Keesing, Felix M.
Oxford University Press,
London
- 9) Philippine Social Life &
Progress Benitez, Conrado
Ginn & Company. Boston Tirona, Ramona S.
(1937)

- 10) History of The Phil-
ippines Bartows, David
World Book Company,
New York (1940)
- 11) History of The Phil-
ippines Benitez, Conrado
Ginn & Company, Boston
(1920)
- 12) Philippines Independence &
the Far Eastern Question Pio Duran
Manila, (1935)
- 13) Orphans of the Pacific: the Philippines Florence Horn
New York, (1941)
- 14) The Commonwealth of the Philippines George A. Malcolm
New York (1939)

商品別輸出額 (續)

(5)			(6)		
年別	煙草製品	比率イ	年別	原 鏡	比率ニ
1931	14,841,675	7.12	1931	40	1
32	12,800,118	6.70	32	189	1
33	10,355,787	4.84	33	—	—
34	10,389,407	9.70	34	29,349	—
35	12,003,658	6.36	35	1,310,867	1
36	10,489,586	3.55	36	3,183,669	1
37	9,966,216	3.29	37	5,191,045	2
38	9,929,279	4.28	38	7,951,587	3
39ロ	7,268,862	5.35	39ホ	3,922,125	3
40ハ	11,996,929	5.29	40ヘ	11,005,303	5

(7)			(8)		
年別	刺 繡 類	比率ト	年別	乾 椰 子 實	比率ヌ
1931	5,314,259	3.55	1931	3,644,257	1.75
32	6,699,649	3.51	32	3,233,409	1.69
33	3,798,631	1.80	33	3,365,609	1.59
34	5,332,840	2.42	34	4,509,079	2.04
35	10,152,489	5.38	35	7,924,630	4.20
36	8,547,110	2.89	36	8,794,125	2.97
37	7,377,606	2.44	37	12,693,263	4.20
38	10,201,980	4.41	38	7,632,715	3.30
39チ	4,932,080	3.63	39ル	3,443,991	2.53
40リ	9,369,140	4.13	40オ	8,732,169	3.85

イ、ニ、ト、ヌ 全輸出額=對スル比率

ロ、ホ、チ、ル 1月—6月迄

ハ、ヘ、リ、オ 會計年度1939年7月1日--1940年6月30日迄

比律賓商品別貿易年額一覽表

(1931年—1940年)

商品別輸出額 (單位ペソ)

(1)			(2)		
年別	砂 糖	比率イ	年別	▼ ニ ラ 麻	比率ニ
1931	99,926,210	48.04	1931	17,885,813	8.60
32	119,603,769	62.72	32	10,031,204	5.26
33	128,666,851	60.81	33	13,747,719	6.49
34	130,909,161	59.29	34	17,323,136	7.85
35	65,981,359	35.00	35	22,947,933	12.17
36	123,874,644	41.93	36	34,177,197	11.57
37	115,412,387	38.12	37	43,279,373	14.31
38	100,044,047	42.19	38	20,318,347	8.97
39ロ	68,932,750	50.68	39ホ	10,503,338	7.72
40ハ	78,989,210	34.82	40ヘ	25,056,755	10.05

(3)			(4)		
年別	コ ブ ラ	比率ト	年別	椰 子 油	比率ヌ
1931	18,300,808	8.80	1931	30,070,644	14.46
32	10,266,454	5.38	32	15,302,287	8.02
33	17,912,057	8.46	33	18,339,645	8.67
34	17,210,249	7.79	34	13,589,742	6.15
35	21,974,660	11.66	35	24,509,162	13.00
36	29,999,568	10.16	36	27,743,418	9.37
37	31,969,399	10.57	37	41,051,073	13.57
38	24,512,028	10.58	38	21,532,910	9.30
39チ	12,428,051	9.14	39ル	9,683,687	7.19
40リ	26,943,593	11.88	40オ	20,684,052	9.12

イ、ニ、ト、ヌ 全輸出額=對スル比率

ロ、ホ、チ、ル 1月—6月迄

ハ、ヘ、リ、オ 會計年度1939年7月1日ヨリ1940年6月30日迄

比律賓主要商品別貿易年額一覽表

(1931年—1940年)

商品別輸入額 (單位ペソ)

(1)			(2)		
年別	鐵鐵、鋼鐵及同製品イ	比率ロ	年別	機械類及發動機類	比率ホ
1931	18,520,621	9.34	1931	8,209,144	4.14
32	12,969,214	8.17	32	7,010,839	4.42
33	11,658,809	8.65	33	5,658,174	4.20
34	15,207,887	9.15	34	7,515,121	4.49
35	14,079,134	8.23	35	8,097,705	4.73
36	22,313,227	11.03	36	11,718,381	5.79
37	23,488,779	10.77	37	15,192,096	6.97
38	26,209,918	19.88	38	19,382,425	7.38
39ハ	11,716,644	11.72	39ヘ	7,628,189	7.63
40ニ	29,562,411	10.22	40ト	17,529,821	6.06

(3)			(4)		
年別	綿製品	比率チ	年別	礦物油	比率ル
1931	32,802,095	16.54	1931	18,935,275	9
32	33,523,243	21.11	32	13,718,021	9
33	26,263,250	19.49	33	11,270,285	8
34	31,242,920	18.65	34	12,781,286	8
35	30,599,841	18.65	35	15,293,182	9
36	30,535,257	15.10	36	14,656,838	7
37	34,908,379	16.01	37	13,004,883	6
38	43,812,099	16.52	38	16,418,377	6
39リ	17,047,055	17.06	39オ	16,037,320	6
40ヌ	41,124,918	14.20	40ワ	23,095,196	8

イ、機械類及發動機類ヲ除ク
 ロ、ホ、チ、ル 全輸入額ニ對スル比率
 ハ、ヘ、リ、オ 1月ヨリ6月迄
 ニ、ト、ヌ、ワ 會計年度1939年7月1日ヨリ1940年6月30日迄

商品別輸出額 (續)

(9)			(10)		
年別	製材木材類	比率イ	年別	コブラ粉	比率ニ
1931	3,681,203	1.77	1931	3,041,605	1.46
32	1,679,450	88	32	2,107,333	1.10
33	2,537,214	1.19	33	2,115,107	1.00
34	4,342,790	1.97	34	2,102,241	95
35	5,023,519	2.66	35	3,278,847	1.74
36	6,199,240	2.10	36	3,659,079	1.23
37	7,886,224	2.61	37	5,800,358	1.92
38	5,659,541	2.01	38	5,495,086	2.37
39ロ	3,218,899	2.37	39ホ	1,946,105	1.43
40ハ	6,647,258	2.98	40ヘ	4,189,548	1.85

(11)			(12)		
年別	帽子	比率ト	年別	網索	比率ヌ
1931	1,111,060	53	1931	1,774,816	85
32	1,187,185	62	32	1,318,093	69
33	1,532,111	72	33	1,813,536	85
34	2,283,749	1.03	34	2,668,219	1.31
35	946,641	50	35	2,323,629	1.53
36	1,176,578	40	36	2,397,739	78
37	933,190	31	37	2,872,921	95
38	634,807	27	38	2,398,062	1.04
39チ	57,580	04	39ル	1,528,119	1.12
40リ	45,463	02	30オ	3,451,954	1.52

イ、ニ、ト、ヌ、全輸出額ニ對スル比率
 ロ、ホ、チ、ル、1月—6月迄
 ハ、ヘ、リ、オ、會計年度1939年7月1日—1940年6月30日迄

商品別輸入額 (續)

(9)			(10)		
年別	絹・人絹及同製品	比率イ	年別	化學藥品及ビ 醫料藥品類	比率ニ
1931	6,501,561	3.26	1931	4,769,208	2.40
32	4,781,256	3.09	32	3,920,043	2.47
33	4,020,186	2.99	33	3,808,707	2.83
34	4,603,650	2.75	34	4,834,364	2.89
35	4,851,400	2.83	35	5,154,636	3.01
36	5,764,409	2.85	36	5,576,887	2.75
37	6,195,701	2.84	37	5,702,083	2.62
38	6,330,109	2.46	38	8,881,410	3.34
39ロ	2,430,189	2.43	39ホ	2,896,632	2.90
40ハ	10,167,119	3.51	40ヘ	9,341,324	3.23

(11)			(12)		
年別	小麥粉	比率ト	年別	米	比率ヌ
1931	6,429,237	3.24	1931	1,194,858	60
32	4,903,888	3.09	32	998,690	63
33	4,432,208	3.29	33	1,147,075	85
34	5,247,388	3.14	34	529,931	32
35	5,911,254	3.34	35	556,208	33
36	7,900,519	3.91	36	4,874,635	2.90
37	8,204,725	3.26	37	4,863,344	2.23
38	10,263,300	3.87	38	999,728	38
39チ	4,638,495	4.64	39ル	1,187,496	1.19
40リ	8,971,290	3.10	40オ	5,768,973	2.00

イ、ニ、ト、ヌ 全輸入額ニ對スル比率

ロ、ホ、チ、ル 1—6月迄

ハ、ヘ、リ、オ 會計年度1939年7月ヨリ1940年6月30日迄

商品別輸入額 (續)

(5)			(6)		
年別	紙同製品	比率イ	年別	自動車部分品 及タイヤ	比率ニ
1931	6,516,224	3.28	1931	9,030,872	4.55
32	5,529,333	3.48	32	8,058,776	5.07
33	4,617,226	3.43	33	7,053,887	5.23
34	6,385,541	3.82	34	10,296,639	6.16
35	6,619,795	3.87	35	9,214,286	5.39
36	1,442,647	3.18	36	11,408,137	5.64
37	7,621,968	3.49	37	11,978,029	5.49
38	10,378,347	3.91	38	16,238,169	6.12
39ロ	3,497,058	3.49	39ホ	3,461,585	3.46
40ハ	12,538,102	4.54	40ヘ	15,576,383	6.38

(7)			(8)		
年別	煙草製品	比率ト	年別	肉類及酪農産物	比率ヌ
1931	5,443,428	2.74	1931	12,150,885	6.12
32	5,386,142	3.39	32	8,128,254	5.12
33	4,240,219	3.15	33	6,528,840	4.84
34	5,853,802	3.50	34	8,231,400	4.92
35	7,500,559	4.38	35	9,305,822	5.44
36	7,130,860	3.53	36	11,024,354	5.45
37	7,340,246	3.37	37	10,081,668	4.58
38	15,866,881	5.98	38	11,979,298	4.51
39チ	3,022,236	3.02	39ル	4,565,710	4.57
40リ	18,685,894	6.46	40オ	12,014,713	4.16

イ、ニ、ト、ヌ 全輸入額ニ對スル比率

ロ、ホ、チ、ル 1月—6月迄

ハ、ヘ、リ、オ 會計年度1939年7月1日ヨリ1940年6月30日迄

比律賞對日主要商品別貿易年額一覽表

(1931年—1940年)

輸 出 額 (單位ペソ)

(1)			(2)		
年 別	マニラ麻	比率イ	年 別	銅及同製品	比率ニ
1931	—	—	1931	—	—
32	—	—	32	—	—
33	3,626,421	26.62	33	20	0.04
34	4,762,660	27.94	34	238	0.33
35	6,299,084	27.45	35	—	—
36	9,489,950	27.67	36	95	0.10
37	9,828,413	22.70	37	658,899	85.57
38	4,636,764	22.28	38	1,285,402	61.38
39ロ	1,651,108	15.72	39ホ	639,845	65.84
40ハ	4,578,857	18.27	40ヘ	1,572,128	46.93

(3)			(4)		
年 別	獸皮、皮革類製品	比率ト	年 別	鐵鋼及同製品	比率ヌ
1931	—	—	1931	—	—
32	—	—	32	—	—
33	6,549	4.42	33	22,495	90.47
34	4,369	6.61	34	64,334	93.89
35	83,588	83.18	35	1,174,225	98.98
36	93,563	93.09	36	2,897,889	100.050
37	262,592	90.43	37	2,832,734	96.69
38	296,987	49.49	38	4,161,134	99.91
39チ	255,970	92.16	39ル	2,472,382	99.65
40リ	242,656	48.96	40オ	5,747,842	97.94

イ、ニ、ト、ヌ 全マニラ麻、銅及同製品、獸皮、皮革類製品、鐵、鋼及同製品輸出額=對スル比率

ロ、ホ、チ、ル 1月—6月迄

ハ、ヘ、リ、オ 會計年度1939年7月1日—1940年6月30日迄

比律賓對日貿易年額一覽表

(1931年—1940年)

(單位ペソ)

(1)			(2)			
年 別	輸入額	比率イ	輸出額	比率ロ	輸出入差引高入超	出超
1931	21,953,482	11.05	7,176,621	3.45	14,876,861	
32	12,310,012	7.75	5,144,595	2.70	7,165,417	
33	11,363,204	8.43	5,921,782	2.80	5,441,422	
34	20,692,546	12.37	8,523,602	3.86	2,618,946	
35	24,342,949	14.23	10,718,729	5.69	13,624,220	
36	26,528,530	13.12	16,786,272	6.15	9,742,258	
37	32,204,014	14.77	20,029,821	6.62	12,174,193	
38	25,414,083	9.58	15,026,342	6.49	10,387,741	
39ハ	7,791,453	7.80	7,223,635	5.31	567,818	
40ニ	13,394,956	4.62	15,727,420	6.94		2,332,464

イ、ロ 全輸出入額=對スル比率

ハ 1月—6月迄

ニ 會計年度 1939年7月1日—1940年6月30日迄

比律賓對日主要商品別貿易年額一覽表

(1931年—1940年)

輸 入 額 (單位ペソ)

(1)			(2)		
年 別	自動車及同部分品	比率イ	年 別	化學藥品・藥品類	比率ニ
1931	—	—	1931	—	—
32	—	—	32	—	—
33	175,080	2.71	33	76,343	2.00
34	244,010	2.66	34	116,154	2.40
35	171,785	2.02	35	235,614	4.57
36	243,514	2.43	36	294,079	5.27
37	383,635	3.48	37	388,037	6.79
38	252,319	1.73	38	394,289	12.58
39ロ	84,411	2.61	39ホ	142,332	4.95
40ハ	157,083	1.22	40ヘ	326,138	3.49

(3)			(4)		
年 別	石 炭	比率ト	年 別	綿絲・綿織物類	比率ヌ
1931	—	—	1931	—	—
32	—	—	32	—	—
33	393,181	33.24	33	5,302,765	20.19
34	609,900	49.80	34	11,111,838	35.57
35	599,725	38.98	35	13,071,817	42.72
36	1,575,284	15.62	36	10,947,354	33.28
37	1,263,658	80.66	37	13,269,869	38.01
38	1,328,568	66.40	38	10,219,834	23.33
39チ	470,307	45.50	39ル	3,273,994	19.20
40リ	155,278	4.94	40オ	6,903,793	16.71

イ、ニ、ト、ヌ 全自動車及同部分品、化學藥品類、石炭、
綿絲、綿織物各々輸入額ニ對スル比率

ロ、ホ、チ、ル 1月—6月迄

ハ、ヘ、リ、オ 會計年度1939年7月1日—1940年6月30日迄

輸 出 額 (續)

(5)			(6)		
年 別	原鐵 <small>(主トシテクロム ムマンガン類)</small>	比率イ	年 別	煙草及同製品	比率ニ
1931	—	—	1931	—	—
32	—	—	32	—	—
33	—	—	33	326,001	3.15
34	—	—	34	465,553	4.48
35	8,134	29.95	35	334,428	2.79
36	49,941	15.93	39	277,622	2.65
37	373,306	19.86	37	445,538	4.47
38	1,010,712	39.22	38	505,811	5.09
39ロ	320,616	31.45	39ホ	315,948	4.50
40ハ	579,820	12.24	40ヘ	511	—

(7)			(8)		
年 別	材木・製材及同製品	比率ト	年 別	コ プ ラ	比率ヌ
1931	—	—	1931	—	—
32	—	—	32	—	—
33	786,488	30.61	33	310,508	1.73
34	1,423,554	27.73	34	494,087	2.87
35	1,545,582	30.12	35	102,034	0.47
36	2,314,871	35.86	31	—	—
37	3,491,385	46.95	37	—	—
38	1,979,568	32.35	38	113,411	0.45
39チ	1,230,829	38.15	39ル	99,262	8.09
40リ	1,970,377	27.53	40オ	46,100	1.17

イ、ニ、ト、ヌ 全原鐵、煙草製品、製材、木材及同製品、及コ
プラ輸出額ニ對スル比率

ロ、ホ、チ、ル 1月—6月迄

ハ、ヘ、リ、オ 會計年度1939年7月1日—1940年6月30日迄

輸 入 額 (續)

(9)			(10)		
年 別	鐵鐵・鋼鐵及 同製品	比率イ	年 別	紙及同製品	比率ニ
1931	—	—	1931	—	—
32	—	—	32	—	—
33	566,424	5.00	33	190,573	11.89
34	887,221	4.00	34	262,016	8.49
35	1,225,474	5.52	35	290,386	4.39
36	1,860,757	5.81	36	313,390	4.86
37	3,116,236	8.06	37	396,132	5.16
38	2,043,972	4.46	38	364,442	3.57
39ロ	622,066	3.22	39ホ	135,605	3.88
40ハ	606,016	1.29	40ヘ	243,796	1.94

(11)			(12)		
年 別	絹絲・人絹及 同製品	比率ト	年 別	野 菜 類	比率ヌ
1931	—	—	1931	—	—
32	—	—	32	—	—
33	1,233,642	30.69	33	324,558	13.32
34	1,781,128	38.69	34	465,605	16.57
35	2,454,341	50.59	35	710,103	21.67
36	3,605,343	62.54	36	782,644	22.54
37	3,176,796	51.11	37	962,240	27.41
38	2,728,317	41.78	38	854,975	21.19
39チ	476,164	19.12	39ル	201,051	11.81
40リ	1,072,122	10.38	40オ	403,513	9.25

イ、ニ、ト、ヌ 全鐵鐵、鋼鐵及同製品、紙及同製品、絹絲、
人絹及同製品、及野菜類各々輸入額=對スル
比率

ロ、ホ、チ、ル 1月—6月迄

ハ、ヘ、リ、オ 會計年度1939年7月1日—1940年6月30日迄

輸 入 額 (續)

(5)			(6)		
年 別	陶 器 類	比率イ	年 別	魚類及同製品	比率ロ
1931	—	—	1931	—	—
32	—	—	32	—	—
33	315,751	12.57	33	219,204	13.49
34	399,828	43.60	34	771,717	28.55
35	399,739	46.09	35	1,095,227	40.24
36	536,486	48.52	36	1,238,281	3.99
37	694,157	55.64	37	2,148,519	60.37
38	615,315	36.33	38	1,589,959	41.71
39ロ	273,313	36.46	39ホ	553,930	31.14
40ハ	437,243	29.33	40ヘ	728,980	18.24

(7)			(8)		
年 別	硝子及同製品	比率ト	年 別	護謨及同製品	比率ヌ
1931	—	—	1931	—	—
32	—	—	32	—	—
33	328,377	31.81	33	193,524	7.81
34	549,268	39.06	34	170,960	4.97
35	514,702	34.73	35	361,363	10.86
36	618,019	41.01	36	441,602	9.89
37	950,292	46.36	37	584,085	12.89
38	880,631	38.99	38	636,953	11.61
39チ	345,859	34.04	39ル	258,904	14.26
40リ	412,175	21.35	40オ	537,612	8.29

イ、ロ、ト、ヌ 全陶器類、魚類及同製品、ガラス及同製品、
及護謨及同製品各々輸入額=對スル比率

ロ、ホ、チ、ル 1月—6月迄

ハ、ヘ、リ、オ 會計年度1939年7月1日—1940年6月30日迄

昭和十七年七月十日 納本印刷
昭和十七年七月十五日 發行



(定價 金壹圓)

(送料 六錢)

東京市小石川區春日町一ノ一

日本拓殖協會

著作兼
發行者 柴山武德

東京市神田區旅籠町二ノ十二

印刷者 青田伊祐

東京市神田區旅籠町二ノ十二

印刷所 廣業館

東京市神田區淡路町二ノ九

配給元 日本出版配給株式會社
日本出版文化協會會員番號二二二一八三號

917
165

拓殖叢書

B六判 各篇 約二〇〇頁
定價 一・〇〇 送料 〇・一二

各篇 口繪寫真數十葉入り 附録 六色刷最新地圖

	(刊)		(既)	
篇四第	篇三第	篇二第	篇一第	
印	比	海	佛	領
		南	印	度
	律	島	支	那
	賓			
	度			

	(刊)		(近)	
濠	ニ	ボ	東	馬
	ユ	ル	印	泰
	ー	ネ		緬
	ギ	オ	度	甸
	ニ		來	
洲	ヤ			

○書店に品切れの節は直接發行所に御註文下さい
○當協會刊行圖書目錄御入用の方は郵券四錢お送り下さい

一ノ一町日春區川石小市京東

會協殖拓本日 團財 所行發
人法

番七七四四 番一九八三 川石小話電
番〇五三三四一 京東 座口 替振

終

